

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	人材の資質・能力向上				予算施策コード	ks04	
担当部局名	警察本部	—	警務課	評価責任者	理事官 前田 正樹	連絡先	5300

1 施策の内容

施策の目標	<p>複雑多様化する警察事象に的確に対応し、身近な日常生活の安全安心を確保して県民の期待と信頼に応えるため、優秀な人材の確保、職員の士気高揚、健康管理対策等を推進し、警察力の質的な強化を図る。</p>
-------	--

これまでの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○優秀で適格性のある人材の確保に向け幅広い採用募集活動を行い、令和4年度中464人を受験させるとともに、時代のニーズに応える多様な人材の確保に努めた。 ○部内通訳員1人に対して語学研修を受講させて能力向上を図った。 ○職員が心身ともに健康で、能力を遺憾なく発揮できるようにさせるため、定期健康診断、職務に合った特別検診、特定保健指導及び部外カウンセラー等による随時相談等を実施した。 ○永年勤続、勤務成績優秀、事件解決等で功労が認められる警察職員及び部署に対して、約5,500件の表彰を実施し、士気の高揚を図った。
----------	--

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	警察官採用者倍率				B	職員1人あたりの医療給付額					
選択理由	優秀で適格性を有する者を採用して警察の総合力を向上させるためには、県内外の幅広い採用候補者を募る必要があるため、採用者倍率を指標とした。				選択理由	職員が心身ともに健康で、その能力を遺憾なく発揮させるためには、健康診断等で有所見者の早期発見・早期治療を行う必要があり、それにより職員1人当たりの医療費も減少することから、指標とするもの					
算定方法	受験者数/採用者数				算定方法	総医療給付額/職員数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	倍(年度)		%	円(年度)		%	千円					
2年度	10	4.5	45.0%	98300	107719	91.3%	63,290	4,467		58,823	50,337	72,398
3年度	10	5.2	52.0%	98300	107036	91.8%	64,552	4,396		60,156	51,917	64,130
4年度	5	5.2	104.0%	95708	116779	82.0%	60,670	3,672		56,998	52,015	63,295

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	犯罪情勢や社会構造の変化に伴い、警察活動を取り巻く環境は非常に複雑になってきており、近年はストーカー・DV事案等の人身安全関連事案にかかる総取扱件数が増加するなど、県民の警察に対する要請が多様化している。こうした中、厳しい治安情勢に的確に対応し、県民の安心・安全を確保するためには、優秀な人材を確保するとともに、警察職員の資質と能力を向上させ、強靱な執行力を備えた精強な警察組織を構築する必要があり、県が関与すべき必要性が高い。								
高い											
成果指標A		説明	採用をめぐる情勢については、大量退職、大量採用時代に加え、就職適齢人口の減少等により厳しい状況にあり、優秀な人材を確保するため、受験者の一層の確保に努めた。近年の景気の回復傾向等に伴う有効求人倍率の向上を受け、採用募集活動を取り巻く情勢は、ますます厳しい状況になっている。こうした中、今後の採用募集活動においては、警察官の魅力アピールし、他の職種との差別化を図るための新たな企画や効果的な情報媒体の活用等に取り組んでおり、これにより受験者の増加や優秀な人材の確保につながるなど、ある程度の成果向上が見込まれる。								
成果動向	横這い										
成果向上余地	成果向上が可能										
成果指標B		説明	警察においては、社会情勢の変化等に伴って増加した業務への対応等による超過勤務の多い職員を中心に、運動不足や不規則な食生活等の偏った生活習慣等により、長期療養を必要とする疾病にかかる職員が存在するところであり、特に本県では、職員1人当たりの医療給付額が全国平均を上回るなど、成果動向としては横這いである。今後も、超過勤務の上限規制を見据えた取組みや健康づくり運動等の各種施策を行うとともに、定期健康診断受診の徹底により、疾病等の早期発見、早期治療に努める。なお、状況は緩やかに改善されていることから、これら施策の継続実施により、成果向上が見込まれる。								
成果動向	横這い										
成果向上余地	成果向上が可能										
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.13	順調・向上			成果向上余地	1.75	成果向上が可能		

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

							予算施策名		ks04		人材の資質・能力向上																		
1 警察活動費（補助）人材の確保			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり												
指標種類1	指標名称1		単位	計画	10	10	5		事業費計	8,935	8,792	7,344	6,982	評価	少子高齢化による就職適齢人口の減少や民間企業の採用意欲の回復により、採用情勢は非常に厳しい状況が続いている。申込者数の前年比は大卒-2人、高卒程度+24人と高卒程度については、増加したものの、採用倍率は横ばいである。														
成果	+	70-	警察官採用者倍率	倍	実績	4.5	5.2			5.2	国費	4,467	4,396					3,672	3,491	見直し 方向性	方向1	このまま継続							
					達成率	45.00%	52.00%			104.00%	その他								方向2										
					計画	計画無	計画無			計画無	県費	4,468	4,396					3,672	3,491		方向3								
指標種類2	指標名称2		単位	計画	計画無	計画無	計画無				事業費計	7,935	7,792					6,352	見直し 方向性	本事業は、警察力の根幹である警察職員の採用に要する経費であり、優秀な人材を確保して警察の総合力を向上させる必要があるため、このまま継続する。									
活動	70-	警察官（大卒）受験申込者数	人	実績	310	271	269					国費	4,463					4,396					3,672						
				達成率	-	-	-					その他	9					1					8						
				計画	計画無	計画無	計画無					県費	3,463					3,395					2,672						
指標種類3	指標名称3		単位	計画	計画無	計画無	計画無						事業費計					5,300					5,300	5,300	見直し 方向性	本事業は、警察力の根幹である警察職員の採用に要する経費であり、優秀な人材を確保して警察の総合力を向上させる必要があるため、このまま継続する。			
活動	70-	警察官（高校卒）受験申込者数	人	実績	367	351	375											国費											
				達成率	-	-	-	その他																					
				計画	計画無	計画無	計画無	県費																					
実施 期間	始期	終期	事業の概要					人役	5.3					5.3	5.3	人件費	35,860	32,065					31,647						
	S29	-	採用試験における優秀な人材確保により、治安の維持を図り、県民が安全で安心して暮らせる生活を確保するために、強力な募集勧誘活動を推進し、真に警察官として適格性を有する人材を採用するため、厳正公平な採用試験を実施する必要がある。																										
2 警察職員等表彰関係費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度			R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小 さい										
指標種類1	指標名称1		単位	計画	85	85	85		事業費計	1,289	1,391			1,278	1,095	評価	表彰による職員の士気高揚は過去3年間で計画値を超えているが、成果は横ばいである。部外協力者への表彰件数は、計画の80%程度達成しており、成果向上の余地は小さい。												
成果	+	70-	受賞後に職員の士気高揚が図れた割合	%	実績	86	86			84	国費											見直し 方向性	方向1	このまま継続					
					達成率	101.18%	101.18%			98.82%	その他										方向2								
					計画	5500	5500			5500	県費	1,289	1,391	1,278	1,095					方向3									
指標種類2	指標名称2		単位	計画	5500	5500	5500				事業費計	1,109	1,188	1,223	見直し 方向性					本事業では、警察行政に対し協力のあった部外協力者に対する表彰に要する経費が含まれており、今後も警察として部外協力者に対して感謝の意を表す必要があるため、このまま継続する。									
活動	+	70-	警察職員、部署への表彰数	件	実績	5064	5580					5499	国費																
					達成率	92.07%	101.45%					99.98%	その他																
					計画	450	450					450	県費	1,109									1,188	1,223					
指標種類3	指標名称3		単位	計画	450	450	450						事業費計	2,000									2,000	2,000	見直し 方向性	本事業では、警察行政に対し協力のあった部外協力者に対する表彰に要する経費が含まれており、今後も警察として部外協力者に対して感謝の意を表す必要があるため、このまま継続する。			
活動	+	70-	警察部外協力者への表彰数	件	実績	375	308							374									国費						
					達成率	83.33%	68.44%	83.11%	その他																				
					計画	計画無	計画無	計画無	県費																				
実施 期間	始期	終期	事業の概要					人役	2					2		2	人件費	13,532	12,100				11,942						
	S29	-	警察職員及び部署の警察業務に対する功勞について表彰を行い、士気の高揚を図るもの。また、警察部外協力者の警察行政各般への協力に対し、感謝の意を表して表彰を行い、引き続きの協力を得るもの																										
3 警察職員厚生経費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度			R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり										
指標種類1	指標名称1		単位	計画	98300	98300	95,708		事業費計	52,551	54,217			51,896	57,682	評価	職員1人あたりの医療給付額は、過去3年間計画値を超過しており、一定の成果向上の余地が認められる。また、定期健康診断受診者数はほぼ計画通りであり効果が出ている。												
成果	-	70-	職員1人あたりの医療給付額	円	実績	107719	107036			116779	国費											見直し 方向性	方向1	このまま継続					
					達成率	91.26%	91.84%			81.96%	その他										方向2								
					計画	2489	2560			2584	県費	52,551	54,217	51,896	57,682					方向3									
指標種類2	指標名称2		単位	計画	2489	2560	2584				事業費計	40,781	42,785	44,288	見直し 方向性					本事業は、職員の健康管理に要する経費であり、職員が健康な状態で勤務することで県民の安全安心に資する必要があるため、このまま継続する。									
活動	+	70-	定期健康診断受診者数	人	実績	2489	2496					2507	国費																
					達成率	100.00%	97.50%					97.02%	その他																
					計画	計画無	計画無					計画無	県費	40,781									42,785	44,288					
指標種類3	指標名称3		単位	計画	計画無	計画無	計画無						事業費計	3,200									3,200	3,200	見直し 方向性	本事業は、職員の健康管理に要する経費であり、職員が健康な状態で勤務することで県民の安全安心に資する必要があるため、このまま継続する。			
活動					実績																		国費						
					達成率	-	-	-	その他																				
					計画	計画無	計画無	計画無	県費																				
実施 期間	始期	終期	事業の概要					人役	3.2					3.2		3.2	人件費	21,652	19,360				19,108						
	S29	-	毎年定期的に健康診断を実施することで、生命にかかわる疾病の早期発見、早期治療につなげるだけでなく、良好な健康状態を継続することで仕事の効率化に役立っている。																										

4 外事犯罪対策費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	60	60	60		予算	事業費計	154	152	152	評価	部内通訳員の通訳業務従事率は、近年80%を超える高い水準を維持していたところ、令和4年度はさらに高い従事率(R5.3末集計時点で約96%)を計上しており、事業継続による成果の向上が認められる。今後も外国人犯罪の増加が予想されることから、部内通訳員の通訳能力向上により更なる成果向上の余地が認められる。							
成果	+	70-	部内通訳員の通訳業務従事状況	%	実績	80	84	96			国費												
					達成率	133.33%	140.00%	160.00%			その他												
					計画	2	2	2			県費	154	152	152					152				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	2	2	2			決算	事業費計	152	152					152	見直し 方向性	方向1	このまま継続	
活動	+	70-	研修受講者数	人	実績	2	2	1				国費									方向2		
					達成率	100.00%	100.00%	50.00%		その他					方向3								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	24	24	25		人役	0.1	0.1	0.1	本事業は、部内通訳員の通訳能力向上に要する経費であり、今後もオンライン等を活用した効果的な研修方法を研鑽し、通訳員の実務能力の向上を図る必要があるため、このまま継続する。									
活動	+	70-	研修の受講時間	時間	実績	25	25	25		人件費	677	605	598										
					達成率	104.17%	104.17%	100.00%		事業の概要													
実施期間	始期	終期	国際化に対応するため、通訳・翻訳業務体制の充実が急務となっており、本事業は、令和2年度までの事業を踏まえ、外国人犯罪及び外国人が絡む各種警察事案に的確に対応するため、語学研修を実施し、高度な通訳能力を備えた部内通訳員の養成を図るものである。																				